

■相談受け付けています

家族の病気のこと、女性ならではの体の悩みなど、医師に聞いてみたいことを、
〒700-8834 山陽新聞社広告局企画編集室
「レディアホームドクター係」まで郵便でお寄せ下さい。
メールで送る場合は ledya-doctor@sanyo.oni.co.jpへ。
プライバシーは厳守いたします。

■レディアホームドクターのホームページ

山陽新聞ホームページ(<http://www.sanyo.oni.co.jp/>)
内のホームドクターをクリックして下さい。

レディア
ホームドクター

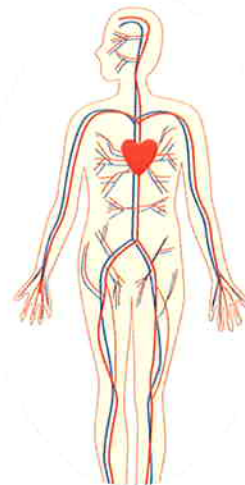
診察室から



バスキュラーラボ

Vascular
Lab

とは？



Vascular Labで行われる各種検査

検査法	目的
form PWV/ABI	脈波伝播速度 (PWV)、ABI (足関節上肢血圧比)、トレッドミル負荷検査
超音波検査 (Duplex Scan)	頸動脈超音波検査 (内臓中膜複合体厚測定) 四肢動脈・静脈超音波検査
エアプレチスモグラフィ (APG)	反応性充血検査 (内皮機能検査) 静脈機能検査
マルチスライスX線CT	3D-CT血管造影
核磁気共鳴画像法 (MRI)	MR血管造影
血管造影 (DSA)	動脈造影、静脈造影

動脈硬化が進行すると血管は狭くなったり、逆に太くなったりします。狭くなり閉塞すると心臓では心筋梗塞や狭心症、脳では脳梗塞が起きます。下肢の動脈硬化が進行すると、ちよと歩くだけで太ももやふくらはぎが痛くて立ち止まり、散歩やゴルフなどができなくなります。方、拡張すると胸部・腹部大動脈瘤、内臓動脈瘤、末梢動脈瘤などと呼ばれ、破裂すると死に至ることもあります。

動脈硬化の初期の変化のひとつに

Vascular Lab(バスキュラーラボ)という言葉を聞いたことがありますか？ 糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満などの生活習慣病、メタボリックシンドロームの背景に血管内皮細胞の傷害があるといわれ、血管機能・形態の評価が必要だといわれています。また、血管疾患の治療法の選択や治療効果の判定にも正しく血管の状態を評価する必要があります。このように血管に関して総合的にその形態や機能を検査し評価することを目的とした検査システムをVascular Lab(血管検査室)と呼んでいます。

Vascular Labで行う検査法の代表的なものを表にあげます。

動脈硬化が進行すると血管は狭くなったり、逆に太くなったりします。狭くなり閉塞すると心臓では心筋梗塞や狭心症、脳では脳梗塞が起きます。下肢の動脈硬化が進行すると、ちよと歩くだけで太ももやふくらはぎが痛くて立ち止まり、散歩やゴルフなどができなくなります。方、拡張すると胸部・腹部大動脈瘤、内臓動脈瘤、末梢動脈瘤などと呼ばれ、破裂すると死に至ることもあります。

内皮細胞からの一酸化窒素(NO)という血管拡張作用物質の分泌低下が認められます。これを評価する検査法がAPG(エアプレチスモグラフィ)による反応性充血検査で、動脈の拡張性を血流の変化で調べる方法です。次いで血管壁の状態を評価する検査法が脈波伝播速度(PWV)で壁の硬さ、血圧、血液の粘性など総合的な動脈硬化度のチェックができます。

血管壁の形態的な変化(壁の肥厚・石灰化・狭窄など)を評価する検査法が超音波検査です。特に頸動脈の内臓中膜複合体の厚さが脳血管疾患、心血管疾患の発症と相関するといわれています。いずれの検査も被検者の苦痛などは一切ない安全な検査法です。

このように簡単な方法で動脈硬化の進行度をチェックすることができます。早期に動脈の変化の有無を知っておくことが生活習慣病の予防や生活習慣の改善への動機付けにもなります。Vascular Labで本場の血管年齢のチェックを受けてみたらいかがですか？



解説医師
しよこく 諸國 眞太郎 先生

Profile

医療法人操仁会 岡山第一病院 院長
1981年岡山大学医学部卒業、同第二外科に入局。
1994年岡山大学附属病院講師。末梢動脈疾患、
下肢静脈瘤など血管外科に携わる。2000年より現職。「下肢静脈瘤日帰りセンター」[Vascular Lab]に積極的に取り組んでいる。

岡山市高屋343 TEL.086-272-4088
URL: <http://www.okayama-daiichi.jp>
e-mail: Info@okayama-daiichi.jp